

「バリアフリーマップの役割について」 (細谷高等専修学校にて講義等実施)

関東運輸局では、バリアフリーに関する有識者、先進的な取組を実施している自治体関係者等、各分野の人材をバリアフリープロモーターとして選任し、プロモート活動、バリアフリー教室の講師としての参画等、バリアフリー施策の推進にご協力いただいております。

今回は、プロモーターの長野先生（福島大学経済経営学類 特任准教授）にご協力いただき、筑西市からバリアフリーマップの作成に関して補助を受けている細谷高等専修学校において、「バリアフリーマップの役割について」というテーマで、講義と実地調査を行っていただきました。

[概要]

- ・日 時：令和3年7月13日（火）10：55～12：15
- ・場 所：細谷高等専修学校（〒308-0041 茨城県筑西市乙288）
- ・対象者：福祉専攻コース2年生・3年生 15名
- ・協 力：福島大学経済経営学類 特任准教授 長野 博一
関東運輸局

[プログラム]

- 1 オリエンテーション
- 2 講義「バリアフリーマップの役割について」（特任准教授 長野 博一）
- 3 質疑応答
- 4 実地調査（学校付近の国道を、車いすを使用して調査しました。）
- 5 まとめ（各班で作成しているバリアフリーマップに調査結果を追記しました。）

生徒の感想

- ・車イスを使うようになったらどのようなことで不便を感じるのか？などを考えながらこれからの生活や将来にいかして行きたいと思います。
- ・坂の道とかすごいがたがたしてて段差とかすごかったので危ないと思いました。
- ・自分が知らない所を知れて障害者の方がどこで困っているのかが理解でき助けることができるので困っている方が居たら助けたいと思います。
- ・坂、道幅、段差、車の通りなどたくさん危ないところがあった。道をよく見て危ないところをたくさん発見していくことはとても大切なのがわかった。次は前よりももっと「どこが危ない」「ここは通ると危険」な所をよく見て歩こうと思った。

学校からの感想

- ・生徒たちに勇気と元気を与えるような内容だったと思います。
- ・このような機会を頂き、とてもありがたかったです。何としても成功させるように取り組んでいきたいです。



講義風景



質疑応答



実地調査



まとめ